

令和5年度 学校教育自己診断結果（教職員） n = 50

質問	肯定%	■ そう思う	■ ややそう思う	■ あまり思わない	■ 全く思わない	R4年度	比較
1 教職員は、学校の教育活動について、日常的に話し合っている。	98.0%	56%	42%	2%	0%	91.5%	6.5
2 貝塚高校の教育活動には、他の学校にない特色がある。	90.0%	60%	30%	10%	0%	100.0%	-10.0
3 教職員は、学校教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	84.0%	26%	58%	16%	0%	76.3%	7.7
4 各教科は、教材の精選・工夫を行っている。	89.6%	42%	48%	10%	0%	96.6%	-7.0
5 教職員は、学習指導の方法や内容について、他の教科の担当者と話し合う機会がある。	60.9%	20%	41%	39%	0%	67.2%	-6.4
6 教員がICT機器を活用している授業が多い。	91.5%	51%	40%	9%	0%	89.7%	1.8
7 生徒がICT機器を使用している授業が多い。	72.3%	23%	49%	26%	0%	72.4%	-0.1
8 教職員は、生徒の意見をよく聞いている。	97.9%	33%	65%	2%	0%	93.1%	4.8
9 学校は、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	89.4%	38%	51%	11%	0%	89.5%	-0.1
10 生徒による問題行動が起こったとき、組織的に対応できる体制が整っている。	83.7%	45%	39%	12%	4%	77.2%	6.5
11 教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員とも相談することができる。	85.1%	43%	43%	13%	0%	78.9%	6.2
12 学校は、生徒指導面で、家庭への連絡や意志疎通を積極的に、きめ細かく行っている。	93.9%	51%	43%	6%	0%	94.7%	-0.9
13 学校は、進路指導面で、家庭への連絡や意志疎通を積極的に、きめ細かく行っている。	97.8%	39%	59%	2%	0%	91.2%	6.6
14 学校は、生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	87.5%	44%	44%	10%	0%	86.0%	1.5
15 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	87.2%	38%	49%	13%	0%	89.8%	-2.6
16 教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	78.7%	26%	53%	17%	4%	72.4%	6.3
17 職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意志疎通や意見交換の場として有効に機能している。	68.0%	10%	58%	20%	12%	66.1%	1.9
18 日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。	84.0%	30%	54%	12%	4%	69.5%	14.5
19 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	76.0%	14%	62%	20%	4%	71.2%	4.8
20 学校は、教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	86.0%	32%	54%	14%	0%	79.7%	6.3
21 学校は、仕事のICT化を進める、時間外勤務を減らす等、働き方改革に取り組んでいる。	72.0%	30%	42%	22%	6%	55.9%	16.1
22 学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている。	86.0%	34%	52%	12%	0%	84.7%	1.3